

ひろがれ

2025
第66号

【ひろがれ、かさなれ、むさしののわ】



特集

せいねん こうけん せいど
「成年後見制度」
について

●トピックス

発信！ わがまち武蔵野人！

●おまじ MONO

山びこの織物制作

(デイセンター山びこ)

●たて糸よこ糸

トヨタモビリティ東京 武蔵野関前店

●えすぶれっそ

気持ちのやりとり

津田京子

「おいしかったよ〜」
の一言をやりがいに

加藤菜穂

●笑門来福

支援を支える環境整備

●連載後日談

「たて糸よこ糸」のその後……

●ミライス☆基金

たくさんのご寄附を
ありがとうございました

「成年後見制度」について

特集

成年後見制度は、認知症や知的障害など、判断に支援が必要な人の財産を管理し、ご本人の意向や気持ちを尊重しながら不当な契約などから守ることができるといわれる制度です。ご両親や大切な人を守るため、親亡きあとにお子様を守るため、また身近に頼れる人がいないのでこの制度について知っておきたいという人も増えています。今まで「気にはなっていたが制度の内容が難しそう……」と感じていた方々にも是非知っていただく機会になればと思います。

Q1

成年後見制度はどんな制度ですか？



A

知的障害・精神障害・認知症などによってひとりで決めることに不安や心配のある人が、いろいろな契約や手続きをする際にお手伝いをする制度です。成年後見制度は、家庭裁判所が後見人を定める法定後見制度と、任意後見制度と2種類あります。



任意後見制度は、あらかじめご本人自らが選んだ人（任意後見人）に、ひとりで決めることが心配になったとき、代わりにしてもらいたいことを事前に契約して（任意後見契約）決めておく制度です。

Q2

法定後見制度と任意後見制度の違いはなんですか？



A

【法定後見制度】…ご本人の判断に支援が必要である場合に、裁判所が後見人を決定し、財産管理や身上保護など必要な支援を行います。後見はご本人への支援の必要度に応じて以下の3類型に分かれます。

— 3 類型 —

| 補助類型 | 保佐類型 | 後見類型 |
|------------------|----------------|------------------|
| 補助的な支援を必要とする人が対象 | 支援を多く必要とする人が対象 | 全面的な支援を必要とする人が対象 |

【任意後見制度（これから備えておこうという人が対象）】…認知症や障害などで将来、支援が必要となった場合に備えて、ご本人が元気なうちに信頼できる人に財産管理や介護サービスの契約などを依頼する制度です。



だれに何を支援してもらおうのかを決めて、その支援内容や方法を公証人*が作成する公正証書にて契約します。実際に判断への支援が必要になった際に裁判所に手続きをとり、事前に指定した後見人が契約内容にそった支援を行います。後見監督人が家庭裁判所より選任されます。

*法務大臣が任命する法律の専門家



Q³

成年後見人はどのような支援をしてくれますか？



A

成年後見人の役割は大きく2つ「身上保護（しんじょうほご）」と「財産管理」があります。

【身上保護】…生活・医療・介護などの事務手続き等を行います。

【財産管理】…預貯金や不動産の取引などお金の管理をします。



実際に支援をしてくれる人を手配し契約することが役割となるため、成年後見人は、食事や排せつのお手伝いなど直接的支援は行いません。また、判断に支援が必要な人を守るため「代理権」「同意権」「取り消し権」などの権限が与えられています。

※補助、保佐、後見のいずれかによっても権限の範囲が異なります。

process

成年後見制度利用への 手続きの流れ

01

申し立て

- 成年後見制度の利用が必要になったときに家庭裁判所に申し立てます。
- 申し立てができるのは、本人・配偶者・4親等内親族、もしくは市区町村長です。
- 本人状況を記した書類・診断書他が必要です。
- 希望する成年後見人の名前（親族・専門職後見人ほか）を記載することができますが、最終的には家庭裁判所が選任します。

02

調査

- 家庭裁判所より必要に応じて事情の聞き取りや調査があります。
- 必要に応じて鑑定書が求められる場合があります。

03

審判

- 家庭裁判所により類型（P.2 参照）と成年後見人が決定、選任されて成年後見人による支援が開始されます。
- 後見情報は法務局に登録されます。
- 専門職後見人には報酬が発生し、被後見人（本人）が支払います。
- 報酬金額は家庭裁判所が決定します。

実際に成年後見制度を利用したご家族(Aさん)に聞きました



Aさん

Q 成年後見制度を利用したきっかけは？

Aさん 「息子には障害があるので、成年後見人をつけることはいつか絶対にやらなくては」と思っていました。主人も亡くなり、今後私一人で息子を支えていくことに不安を感じていたところ、ちょうど主治医の先生から成年後見制度のお話を聞く機会がもてました。私の今後の健康状態もどうなるかわからないので、よい機会をいただいたと思い、これをきっかけに利用を決めました。

Q 利用にあたりどこに相談しましたか？

Aさん 主治医に相談し、武蔵野市福祉公社にも何回か聞きに行きました。

Q 後見制度を利用した感想（後見人とのやり取りなど）

Aさん 後見人さんは障害者のことにとっても理解があるので、いろいろ気になっていることも相談しています。

相談窓口

武蔵野市福祉公社では「成年後見利用支援センター」が成年後見制度利用（制度全般、申し立て方法など）についての相談を行っています。何かお困りの際にはぜひお気軽にご相談ください。



公益財団法人 武蔵野市福祉公社
成年後見利用支援センター

東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-15-9
岩崎吉祥寺ビル 3階 TEL : 0422-66-2332
(受付時間 8:30 ~ 17:15 土日祝除く)

成年後見利用
支援センター

本部建て替え工事のため、
仮事務所に移転し運営しています

まとめ

成年後見制度は、今後、日本が迎える「超高齢社会」の中で、意思疎通や判断に支援が必要な方の生活や社会参加を支える仕組みとして期待されています。ご本人の意思を尊重した支援（意思決定支援）を行い、ともに考えていく制度となります。また、その意思決定支援をどのように進めるか、現在、国として数年後の制度改正のための準備をしているところです。

どんなときにも安心して暮らしていくために、成年後見制度をうまく活用し自分らしい生活の実現をはかりましょう。



発信！わがまち武蔵野人！

「ラジオ出演をお願いできませんか」むさしのFM市民の会の方から「発信！わがまち 武蔵野人」への出演依頼をいただいたとき、偶然居合わせたご利用者からの「ラジオ出てみたいね」という一言が始まりました。私個人の話には自信がありませんでしたが、ご利用者との出演なら、とお受けしました。生放送が2月14日に決まり、出演



アナウンサーとラジオブース内で

※過去の放送回の視聴ができます。詳しくは、むさしのFMホームページへ。

するご利用者お二人との打ち合わせを始めました。まずは、「七福に食べに来てください」「DMの封入封緘や出荷の仕事をがんばっています」など、ご利用者から発信したいことを聞き取り、台本作成。練習をしていざ当日。朝から緊張していたお二人でしたが、本番はリハーサル通り落ち着いてお話しされていました。ご利用者のキラキラと自信に満ちた表情がラジオでお届けできないのが残念なくらいでした。本番前の打ち合わせでは、むさしのFM市民の会の皆さまやアナウンサーの方が温かく迎えてくださり、放送後には「とてもよかったですよ」と声をかけていただきました。施設から飛び出し、市民の皆さまのお力を借りて一緒に番組作りに参加させていただいたことはご利用者にとって貴重な経験となったことと思います。地域とのつながりに感謝の一日でした。

(武蔵野福祉作業所 前施設長 本郷 倫子)



法人内で生み出される「もの」とその「もの」がたり

山びこの織物制作

山びこの創作のなかでも長い歴史のある織物。現在もグループ「イッカ」のメンバーを中心に織物制作は続いています。同じ織り機を使い同じ手法で織っても、織り手によって作品の風合いはまったく変わります。Kさんはよこ糸を通すときに、たて糸がぎゅっと縮まるほど引っ張って織るスタイル。両サイドの目がつまり、力強い織物になります。逆にAさんは、よこ糸を折り重ねる力がとてもやさしいので、糸と糸の隙間があき、ふんわりとした作品に仕上がります。以前は几帳面に織っていたNさん。最近のはたて糸の途中から不規則によこ糸を通したり、糸の色をこまめに変えたりと、自由な織り方を楽しんでいきます。

そんな個性豊かな織物は、ボランティアさんとつながりも育んでいます。定期的なたて糸張りに来所してく



鼻歌を歌いながら
楽し気に織り進めています



ださるボランティアさんは、どんな注文でも毎回織物の生地を使い、鍋つかみやバックなど素敵な作品としてイメージ通りに仕上げてくれます。

今後も織物が、さまざまな人とつながる橋渡しになることを願いながら、毎日トントンと織り進めています。

(「デイセンター山びこ」 佐藤 直子)



トヨタモビリティ東京の外観と子どもたちの塗り絵

トヨタモビリティ東京 武蔵野関前店は、五日市街道と武蔵境通りの交差点近くに位置するトヨタ自動車販売用のショールームです。店舗の目の前にバス停があり、大型スーパーも近い生活に便利な場所にあります。この日、通りに面したガラスには、地域の子どもたちが描いた塗り絵が飾られていました。お店に入ると、当法人の職員が講師を務めた認知

たて糸 よこ糸

よりよい地域づくりをめざして活動している団体等を紹介いたします。

トヨタモビリティ東京 武蔵野関前店

〒180-0014
東京都武蔵野市関前 4-9-2
TEL: 0422-56-1511
FAX: 0422-56-1515
営業時間: 10:00 ~ 18:00
定休日: 毎週火曜日
第1・3月曜日

症サポーター養成講座を修了した証である「オレンジリング」を名札に付けた店長の大野さんと、副店長の齋藤さんが笑顔で出迎えてくれました。

店長の大野さんは、24

年4月に武蔵野関前店に赴任。前任者が地域貢献に熱心で、武蔵野市や武蔵野市市民社会福祉協議会と連絡を取り合っており、大野さんは地域とのつながりを一層推進させることを決意。日頃から関前福祉の会と連絡をとり、店舗の一部を市民協会の生活相談会の会場として無料開放するなど、積極的に地域と交流を持つよう努めています。取材中も、関前福祉の会の大谷さんが偶然、店舗を訪れました。大谷さんは「車のショールームという敷居が高いけれど、いつも笑顔で迎えてくれるから、私にとっては立ち寄りやすい場所です」と笑顔でした。

店長の大野さんは、認知症サポーター講座の重要性をこう話します。「高齢のお客様も多いので、運転に問題はないかなど、以前よりも注意してお話を伺えるようになりました。地域の皆さんとつながりたいと考えたときに、認知症の基本的な知識を知って認知症サポーター講座を受講してよかったです」。

また、副店長の齋藤さんは、「以前は認知症の知識が全くなくて、亡くなる直前に急に認知症になる



オレンジリングを名札に付ける大野さんと齋藤さん

もの思っていました。認知症は段階的に進むもので、普通に地域で生活していても認知症の人はいて、ちょっとしたサポートでよりよく暮らしていけることを知ることができたのは貴重な体験でした」と笑顔で語ってくれました。

「夏の暑い時期や冬の寒い時期、それにゲリラ豪雨のときなどは、バスが来るまで店内でお待ちいただけます。『この地域にトヨタモビリティがないと困るね』と頼ってもらえる店舗になっていきたいと思えます。いずれはつむぐとさんの商品を店頭展览展示したり、販売するなどのコラボもしていきたいです。オレンジリングを付けた店長・副店長が笑顔で待っているのです、是非立ち寄り寄ってみてください。

(聞き手) ティセンターふれあい 早川 友紀

えすぷれっど

ちょっとひといき♪ 心がほっと温まるスタッフの日常をお届け♪

気持ちのやりとり

グループホームかしの木

津田 京子

普段、私たちは言葉を使ってやりとりをしています。ご利用者のなかには、言葉がうまく言えなかったり、会話が難しい方もいらっしゃいます。そんなとき、どうしてもご利用者の気持ちを伝えることができるでしょうか。

トイレや水分が必要なのではないかと、姿勢が正しいのではないかと、前にどんなことがあったのか、何が気になるのだろう、などと想像しながら支援しています。



気持ちを表す手

ご利用者は、私が聞き取れなくても何度も話してくれる方や、直接は話せないけれど、優しく手をかけてくれる方など、気持ちを伝えようとしてくれる姿を見ることが出来ます。何をしたいのか、私も想像して言葉を返したり、聞いたりしていきます。違っているときは、ご利用者がまた、手の動きや視線の強さ、声の調子等で、気持ちを伝えてくれます。分からないからこそやりとりが繰り返されますが、積み重ねていくことで、やって欲しいことだけではなく、そのご利用者のものの感じ方や捉え方も分かってくるのだと思います。また、ご利用者も職員イメージを形作っているのだと思います。

ゆつくりとですが、ご利用者の気持ちを知らするためのやりとりを繰り返し、距離を縮め、お互いの気持ちが伝わったときの喜びをご利用者と一緒に味わっていきたいと思います。

「おいしかったよー！」
の一言をやりがいに

ゆとりえ

加藤 菜穂

ゆとりえで管理栄養士として働き始めて3年が経ちました。

振り返ってみるとご入居者やご利用者とのやりとりから失敗と成功を身をもって感じ、自分自身を大きく成長させてもらったと感じています。デイサービスの昼食時にこんなことがありました。

「加藤さん！ Aさんが話したいことがあるそうです」とデイの職員に声



食事配膳前、厨房内での一コマ

をかけられました。何かミスしたのか？とドキドキする瞬間です。

ご利用者に恐る恐る声をかけると「これ……おいしかったわよ！ また食べたいわ！」と大変嬉しいお言葉。「この料理を食べたら、昔、寮の社員食堂で働いていたことを思い出したわ。懐かしくなっちゃって、栄養士さんと呼んでもらったの」と。食事にはその方を元気にしたり、当手を懐かしく思い起こす力があると改めて実感することができました。

「今日の食事、美味しかった」と言っていただけの瞬間の喜びは、何ものにも代えがたいものです。この仕事のやりがいは、何よりご利用者・ご入居者の健康と笑顔、そして生きがいに直結していることです。

栄養管理を通じてご利用者の生活を支えられるこの仕事を誇りに思いながら、これからもよりよい食事提供を目指して努力していきたいと思います。

笑門来福

支援を支える環境整備

皆さま方には日頃より温かい励ましとご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

4月より新年度となり、各事業所においては新しいご利用者をお迎えしています。また、12人の職員が仲間として加わりましたので、引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、安全安心な事業運営のためには、計画的な施設の維持管理が必要となります。建物の劣化が進んでいる特別養護老人ホームゆとりえは令和7年度から、障害者総合センターは令和8年度から順次、大規模修繕に着手する予定です。

また、以前お知らせした武蔵野福祉作業所の建替え関連では、仮設建物の建築を令和9年度に予定しています。各工事とも時期や内容が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

紙面別欄に掲載のとおり、多くの方々から浄財を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。クラウドファンディング等も活用し、広く資金調達を図ってまいります。

日々の実践の積み重ねを基に安定した支援を継続できる環境を整えて、地域の皆さまの期待に応え、地域社会とつながることを通し、地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(理事長 渡邊 昭浩)

連載後日談

「たて糸よこ糸」のその後……

ふれっど65号「たて糸よこ糸」のコラムで西荻窪にある雑貨店「あめつち」の店主、柘植英則さんをご紹介しました。そのインタビューの際「使って汚して完成する商品」というコンセプトでエプロンのご提案をいただきました。

そこで早速、0.9m×10mの大きな布に、デイセンターふれあいのメンバーで思い思いにペイント。その生地を仕立て、色鮮やかなエプロンが完成しました。現在「あめつち」では、使って、思い出を染み込んで完成する「未完成のエプロン」として販売されています。

購入してくださった方から「とても元気になるエプロンです」との嬉しいメッセージもいただきました。機会がありましたら、ぜひお手にとってご覧ください。

(デイセンターふれあい
本川 如子)



ミライズ☆基金

たくさんのご寄附をありがとうございました

ミライズ基金にたくさんのご寄附を賜り、誠にありがとうございました。いただいた真心は、施設整備等に使用させていただきます。感謝の意を表するため、お名前公表可の皆さまを掲載させていただきます。

寄附者芳名

山下 純 様、秋山文男 様、東海林信 様、百瀬康弘 様、森 博夢 様、島田龍一 様、沢口良子 様、住田和子 様、副島泰子 様、船津信太郎 様、島田万樹彦 様、町田 貴 様、井田克登 様、中川雅量 様、足立俊夫 様、井上美津子 様、水野義明 様、井手上藍 様、山井理恵 様、勝沼繁子 様、清水範男 様、大橋由紀子 様、上村 司 様

36名(順不同/令和6年度分 2025.3.31 時点)

お問い合わせ先 本部事務局 ミライズ基金担当

電話：0422-54-7666 メール：musashino@fuku-musashino.or.jp

※ミライズ基金についての情報は当法人のWebサイトか、右のQRコードからご覧いただけます。

※社会福祉法人武蔵野への寄附は、税制上の優遇措置が図られています。確定申告を行うことで、所得税法上の寄付金控除を受けることができます。

